

2022年 6月23日発行

- ☆★目次☆★
- 1、はじめに
 - 2、トピックス
 - 3、終わりに
 - 4、新着情報



1、【はじめに】

～地域連携室からご挨拶～

梅雨の候、お変わりなくご活躍のことお喜び申し上げます。

今月もメールマガジンをお読みいただきありがとうございます。6月号は「当院緩和ケアチームの紹介」です。今年度は当院の認定看護師の活動もご紹介していきたいと思っております。

当院と地域の病院・クリニックの先生方、看護師との連携を一層深めていきたいと、ご意見・ご感想をお待ちしています。今後ともよろしく願いいたします。

2、【トピックス】

市立甲府病院 緩和ケア認定看護師の紹介

私達は開業医、クリニックの医師・看護師・ケアマネ等からの相談
在宅療養患者様やご家族からの相談を受けています。

お気軽にご連絡ください。

内田由紀・田中美穂・根津弘美・丹澤千晶



緩和ケアチーム活動内容紹介

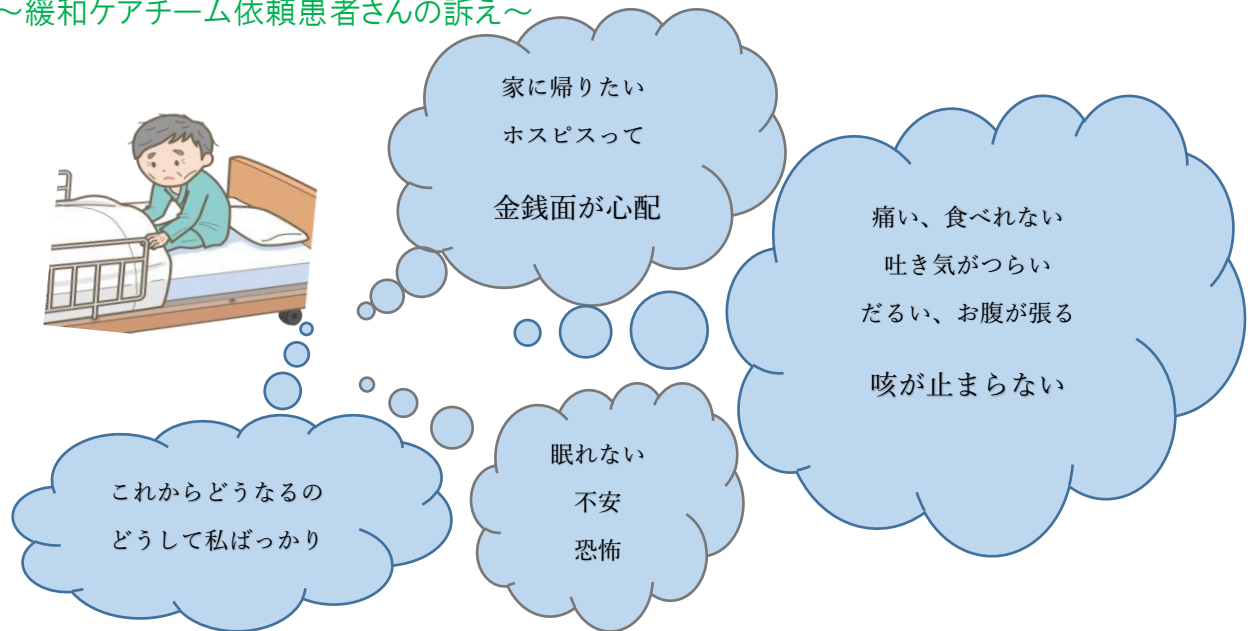
R4年度から活動体制が変わりました！

セクションに緩和ケア認定看護師が配属され、チームメンバーと共にラウンドを実施しています。

- ① 緩和ケアチームラウンド日
毎週金曜日
- ② メンバー
角田医師、小林医師（非常勤）、幡野薬剤師、小澤栄養士、各病棟担当緩和ケア認定看護師
- ③ 緩和ケアチーム依頼方法
主治医・病棟看護師から各病棟緩和ケア認定看護師に連絡をする

④ 活動内容

～緩和ケアチーム依頼患者さんの訴え～

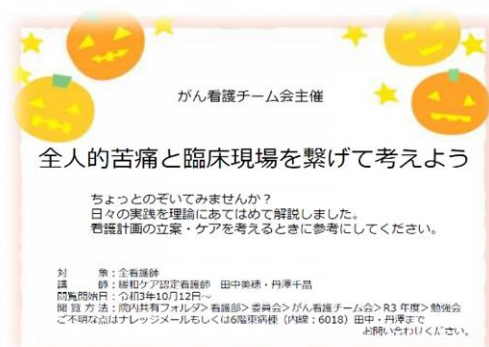
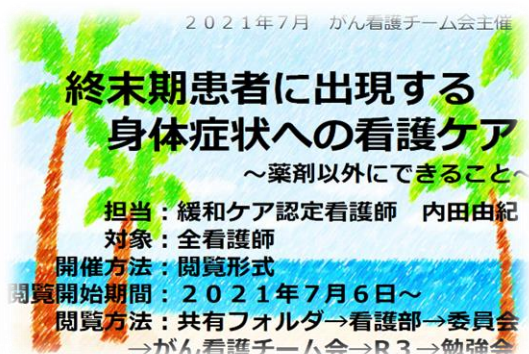


・患者さんは上記のように多くの辛さや悩みを抱えています。緩和ケア認定看護師が病棟に所属しているため、スタッフと早期に患者さんの訴えをキャッチし、チームに依頼することができています。月曜日から木曜日は緩和ケア認定看護師・がん専門看護師が情報共有を行ない、必要時横断的に対応しています。

・チームへ依頼を受けた後、患者さんのベットサイドに向かい症状緩和を行ないます。チームメンバーでラウンドを行ない、ラウンド時に医師・スタッフと情報共有を行ない各病棟でカンファレンスを実施しています。

★その人らしさを大事に、その人が持っている力を発揮できるようにサポートし、在宅、施設へ思いを繋いでいます。日常生活の延長上の看取りを支援（食べる、排泄、睡眠、保清ケア）し、日常のケアを大切に他職種で連携を図っています。

- ⑤ がん関連の専門看護師・認定看護師が、院内看護師を対象に、毎月勉強会を企画・開催しています。



今回は終末期がん患者の出現頻度の高い2つの症状について、看護ケアをお伝えします。

【全身倦怠感へのケア】



- まずは治療可能な原因かを評価し、除去・軽減する
- エネルギー温存法
 - ① 一日の中でエネルギー配分を考える（食事、リハビリ、会話、入浴など）
 - ★患者さんは一日の中で、どこにエネルギーを使いたいのか？思いを聴いていく
 - ② 休息を促す
- 快の感覚を高めるために音楽、アロママッサージなどを取り入れる
（アロママッサージは禁忌となる事があるため注意が必要）
- クッションを用いて安楽な姿勢の検討を行なう

【食欲不振（がん悪液質）へのケア】



- 改善可能な前悪液質、悪液質には積極的な介入を行う。終末期患者に出現する「不応性悪液質」に対しては安寧を最重要ポイントとした介入を行う
- 食事は少しでも楽しめる工夫と、苦痛のない範囲で食事を提供する
- 好きなものを食べれる時間に少量ずつ摂取していく
- 口腔内の観察と口腔ケアの実施
- 終末期患者では食欲低下が自然に現われます。無理に摂取させようとするのが負担につながる場合があります。患者さん、家族が抱えている苦悩を傾聴していく
 - ※ 活動量が低下している状態で過度に栄養摂取を促すと高血糖や倦怠感、浮腫の原因となることがあります

～勉強会資料より抜粋～

